



激しさを増すライバル対決

6月に行なわれた「パールカップ」に続き優勝者がグランプリへの出場資格を得る新設G1の第2弾「オールガールズクラシック」が松戸競輪場を舞台に10月2日〜4日の日程で行われる。通常のトーナメントも3概念組み込まれて参加選手は全員ガールズというナイター開催で、より華やかな大会となる。42名が参加するG1戦は、予選1〜2着の10名、3着4名と初日特選の「ティアアラカップ」にシードされた7名が準決に勝ち上がり、準決の1〜2着の6名と3着1名が決勝に進む。従来の開催のポイント制の番組と異なり、一度のミスが命取りとなる緊迫の3日間だ。

普通開催では白星ラッシュの強豪しかいないので勝ち上がりで波乱の余

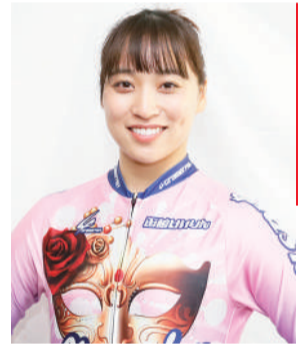


児玉 碧衣

地は十分あるが、V争いは最終的に児玉碧衣と佐藤水菜の一騎打ちになるというのが大方の見方だろう。ガールズケイリンを長年に渡りリードしてきた児玉、ナショナルチームのエース佐藤。両者の争いは昨年7月のオールガールズで1着同着して以降は佐藤が勝つてきたが、ガールズドリムレースで児玉が一矢報いた。佐藤が出切った瞬間に児玉が叩いて先行勝負に出て押し切り勝ち。意表を突いた仕掛けで長い距離を踏み切る大胆さが光ったが、一番のライバ

ルを倒してグランプリの大怪我を克服してさらなる進化を遂げたことを証明してみせたのは大きい。パールカップを制してすでにグランプリ出場権を手に入れている児玉はプレッシャーなく戦えるという他の出場メンバーにはないアドバンテージもある。9月4日市を腰痛で当日欠場した影響がなければ、伸び伸びと自分の競走で佐藤を返り討ちにするか。来年のパリ五輪で結果を出すために今が正念場の佐藤は、この一戦の直前も国際大会に出場する。準備して仕上げに臨むのは難しいが、グランプリで昨年の雪辱を果たすためにも出場権は是非でも手にしたいだろうし、「世界のサトミナゲ」は多少のハンデなど問題にしない。ケタ違いのスピードで繰り出すカマシ、まくりか、絶妙なペース駆けに持ち込むか。これまで通り、自分の感性に任せた変幻自在な仕掛けで児玉らを翻弄してみたい。

2強に割って入るなら、ナショナルチームで佐藤と鏖める太田りゆか、今年のガールズで話題を集める久米詩、坂口楓華。太田はガールズドリムレースで児玉に迫



久米 詩

る2着で今度こそビッグレースで勝つという思いを強くしたことだろう。久米は5月のコレクション、ガールズケイリンフエスティブアルの覇者で、児玉越えも果たした。完全優勝した9月前橋では逃げ切りもあって、照準を合わせているこの一番にも万全の状態を挑めそう。坂口は怒涛の32連勝で1年をスタートさせ、近況も白星ラッシュ。練習の成果で、以前より仕掛ける勇気も増している感がある。そろそろビッグで大仕事をやってのけたい。

「オールガールズクラシック」 出場予定選手 ※2023年9月23日現在

級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点
オールガールズクラシック					L級B				
L1	荒牧聖未	栃木	102期	56.87	L1	吉岡詩織	広島	116期	55.60
L1	山口伊吹	長崎	116期	54.29	L1	浦部郁里	千葉	102期	49.10
L1	野口諭美可	大分	102期	54.20	L1	村田奈穂	熊本	116期	54.47
L1	小林莉子	東京	102期	56.29	L1	南門佳	鹿児島	116期	52.79
L1	加瀬加奈子	新潟	102期	53.05	L1	青木美保	埼玉	118期	53.39
L1	石井寛子	東京	104期	56.38	L1	杉浦菜留	愛知	118期	52.54
L1	山原さくら	高知	104期	56.88	L1	増田夕華	岐阜	118期	54.52
L1	高橋梨香	埼玉	106期	54.36	L1	下条未悠	富山	118期	54.59
L1	奥井迪	東京	106期	54.84	L1	尾方真生	福岡	118期	56.53
L1	小林優香	福岡	106期	55.85	L1	廣木まこ	福岡	118期	52.23
L1	細田愛未	埼玉	108期	53.74	L1	飯田風音	埼玉	120期	54.92
L1	児玉碧衣	福岡	108期	58.59	L1	太田瑛美	三重	120期	54.70
L1	鈴木奈央	静岡	110期	53.87	L1	吉川美穂	和歌山	120期	57.12
L1	中野咲	愛知	110期	55.46	L1	藤原春陽	徳島	122期	51.78
L1	太田りゆ	埼玉	112期	60.00	L級A				
L1	梅川風子	東京	112期	56.00	L1	奈良岡彩子	神奈川	104期	49.28
L1	鈴木美教	静岡	112期	53.81	L1	猪子真実	愛知	104期	45.00
L1	吉村早耶香	静岡	112期	54.26	L1	三宅玲奈	岡山	108期	49.23
L1	太田美穂	三重	112期	56.05	L1	橋本佳耶	熊本	114期	44.93
L1	坂口楓華	京都	112期	57.13	L1	出口倫子	長崎	116期	46.80
L1	野本怜菜	埼玉	114期	54.93	L1	森内愛香	大阪	118期	46.79
L1	佐藤水菜	神奈川	114期	58.00	L1	高木香帆	岩手	120期	47.52
L1	當銘直美	愛知	114期	53.17	L1	本多優	群馬	120期	48.84
L1	柳原真緒	福井	114期	56.11	L1	刈込奈那	千葉	120期	47.83
L1	日野未来	奈良	114期	54.04	L1	松本詩乃	東京	122期	52.50
L1	佐伯智恵	愛媛	114期	51.67	L1	熊谷芽緯	岩手	124期	51.21
L1	那須萌美	宮崎	114期	55.52	L1	星野しほ	東京	124期	46.73
L1	岩崎ゆみこ	茨城	116期	53.45	L1	山口優依	愛知	124期	48.86
L1	久米詩	静岡	116期	57.22	L1	藤高千恵	広島	124期	44.33
L1					L1	高本美穂	熊本	124期	47.78



佐藤 水菜

主カメンバー ※2023年9月23日現在

氏名	登録地	期別	競走得点	直近12場所成績	総合評価
尾方真生	福岡	118期	161.65	14(9)4(1)	83
児玉碧衣	福岡	108期	169.67	17(3)0(0)	93
坂口楓華	京都	112期	166.57	22(3)0(0)	77
久米詩	静岡	116期	160.59	18(9)1(0)	75
佐藤水菜	神奈川	114期	163.63	16(6)1(2)	92
石井寛子	東京	104期	160.65	4(2)5(2)	67
太田りゆ	埼玉	112期	166.62	18(0)0(0)	86



荒牧 聖未 (栃木/102期)

今期に入って怒涛の白星ラッシュ。1着失格と2着が1回ある以外は全て勝っている。質の高い練習ができていて成果で自信を持ってレースに臨んでいる感じだ。展開に応じた多彩な攻めが持ち味でここも一発十分。



野本 怜菜 (埼玉/114期)

9月平では鈴木美をまくった小林優をゴール前で逆転して完全Vを達成。佐藤水や柳原真をはじめ上位で戦う選手を数多く輩出している114期でナンバーツーだった素質が開花してきた。連の対象で要一考。



村田 奈穂 (熊本/116期)

切れ味抜群のまくりをトレードマークにメキメキと売り出してきている。児玉碧や尾方真がいる久留米に出稽古に行っている成果が出てきた。本人も手応えを感じ走っていて、今や勝ち上がり戦でも見逃せない。



GIRLS KEIRIN L級 ガールズ A.B.C



熊谷 芽緯 [岩手・124期]

下位の3概念には全て初優勝を狙える新人があっせんされていて、新風を吹き込む。Aの本命には熊谷芽緯を抜擢する。養成所時代から先行力を猛アピールして、ルーキーシリーズでは6月福井でV。本格デビュー後も2戦目以降は決勝に進出と好スタートを切った。地元の名物先行レーサー刈込奈那は8月高松でねじ伏せているし、力で主導権を奪っての押し切りは有望だろう。

ガールズA展望

熊谷芽緯がパワー駆けてV



竹野 百香 [三重・124期]

124期ナンバーワンの竹野百香と、ナショナルチームで実績を積み内野艶和の激突が話題を呼びそう。本命は竹野だ。先行へのこだわりは強く、出切ってから踏み直しがとにかくしっかりしている。ルーキーシリーズでは反撃にいられても次々に合わせ切って、9戦7勝、2着2回。当所も5月に完全優勝している。本格デビュー後は思うような競走をさせてもらえない場面も目に付くが、同型手薄のここは落ち着いて力を出し切れるのが通常開催初Vという。

ガールズB展望

先行力際立つ新鋭竹野百香



石井 貴子 [千葉・106期]

ここも新人・松井優佳の本格デビュー初Vに期待が懸かるが、地元の石井貴子が大きな壁となつて立ちはだかる。練習中の大怪我から7月に復帰を果たした石井。9月向日町112着、大垣MNI13着。まだ完全復活を目指している途上だが、それでも第一人者らしさが随所で光っている。ダッシュを生かした自力攻撃で格の違いを示そう。

ガールズC展望

地元の石井貴子が壁になる